

林産物に着目した新規ビジネスの可能性—持続可能な森林管理との両立を目指して—

平成29年3月17日（金）14：00～17：00

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール5C

主催：国際緑化推進センター（JIFPRO）

協力：森から世界を変えるREDD+プラットフォーム，日本貿易振興機構（JETRO）

途上国では、持続的森林経営に対する十分な経済的インセンティブが存在せず、農地転用等による森林の劣化・減少が進んでいます。それらを緩和するには、各地域に眠る森林由来の有用資源の発掘、需要の開拓、市場へのアクセス確保、新たな製品開発、加工法の改善等を通じ、森林資源の経済価値を高めることが重要です。また、民間団体によるビジネス活動を通じた技術・資金の投入も欠かせません。

国際緑化推進センターでは、「林野庁補助事業 途上国持続可能な森林経営推進事業」において、途上国の森林保全に貢献し得る森林ビジネスを促進すべく、途上国の森林由来の未・低利用有用資源の中からビジネス化の可能性がある製品を選び、それを生かしたビジネスモデルの作成・提案を行っています。

本セミナーでは、今年度作成した5製品のビジネスモデルのうち一部をご紹介しますとともに、パネルディスカッションでは、実際に林産物を利用したビジネスを実施・検討されている企業をお招きし、そのビジネス化の要件や課題等について整理し、将来民間企業が林産物を用いて新規ビジネスへの展開するための情報や可能性を共有する場を設けることを主眼としています。

セミナー終了後は情報交換会も予定しております。海外でのビジネスや環境保全に関わる様々な方々の情報共有の場として、ご活用ください。ご興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

時間		テーマ	
14:00	10分	開催挨拶・事業趣旨の説明	
14:10	30分	基調講演： 森林保全と非木材林産物—その重要性と可能性、課題— 樫尾昌秀（元FAO 森林資源専門官）	
14:40	25分	製品①： サトウヤシ砂糖	ビジネスモデルの概要
			モデル地域や製品の紹介
15:05	25分	製品②： ヒマラヤイラクサ繊維	ビジネスモデルの概要
			モデル地域や製品の紹介
15:30	25分	製品③： マングロープエビ	ビジネスモデルの概要
			モデル地域や製品の紹介
15:55	10分	コーヒーブレイク	
16:05	50分	パネルディスカッション （途上国の林産物の商品性、期待される地域住民への還元等）	
16:55	5分	閉会挨拶	
17:00		意見交換会（任意参加）	

※こちらのプログラムは、ヒマラヤ保全協会がBEPPROのホームページより引用いたしました。